

イベント等の情報は変更することがあります。
最新の情報は当館ホームページをご覧ください。

ミュージアムコンサート等
企画展会中にアトリウムなどで開催します。

美術講座
当館学芸員がテーマに沿って講座を行います。

新潟市内中学校向けプログラム
出前美術館
新潟美術館派遣の講師(作家等)が小中学校に出張して、図工・美術の楽しさを伝える授業を行います。

教職員視察研修観覧
小中学校等の教職員を対象に、視察を受け入れています。図工・美術の授業等にご利用ください。

観覧料免除について

- 障がい者手帳、療育手帳をお持ちの方は無料(受付でご提示ください)。
- 児童福祉法および学校教育法に規定する新潟市内の保育園、幼稚園、小学校、中学校又は特別支援学校の児童生徒、引率者が教育課程に基づく教育活動として展示を観覧する場合、観覧料を全額免除します。事前に「新潟市新津美術館観覧料等免除申請書」をご提出ください(ただし引率者とはその学校の教職員に限ります)。

やさしいサービス
※変更・中止となる場合があります。
最新情報はHPをご覧ください。

託児サービス
鑑賞中に専門スタッフがお子様をお預かりします。
●会期中の第2・第4の木曜日・土曜日 午前10時～12時
●6ヶ月児～未就学児対象
●要事前申込み(利用の3日前までに TEL 0250-25-1300)

利用
無料

こどもタイム
美術館内に音楽が流れるので、お話ししながら鑑賞できます。
●会期中の第1・第3の木曜日・日曜日 午前10時～午後1時

あいてマンドー!
月曜日でも開館します!
●各展覧会1～2回程度

施設サービス

- コインロッカー (無料、100円返却式)
- ベビーカー、車イスの貸出し(無料)
- 授乳対応室あり (スタッフにお声がけください)
- おむつ替えシート (トイレ内)
- 多機能トイレ
- 補助犬同伴可
- 筆談OK

カフェ

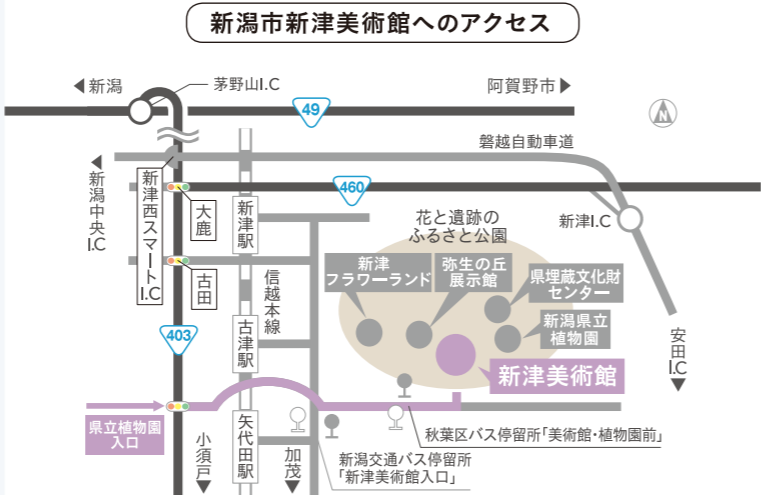
CAFÉ 2F 新潟美術館
ハンドドリップで丁寧に淹れたコーヒーと共に鑑賞の余韻を楽しむカフェ

MENU(税込)
ハンドドリップコーヒー 495円～
カフェラテ 600円
ココア 440円
クラフトコーラ 660円

米粉ビスコッティ 165円
バウムクーヘン 165円
自家製プリン 440円
あんバタートースト 440円 他



営業時間:
午前10時30分～午後4時30分
定休日:月曜日(臨時休業あり)
[Instagram] @cafe2f_



●周辺駐車場

●無料駐車場250台 ●県立植物園無料駐車場も利用可能 ●大型バスは県立植物園駐車場に3台駐車可能

JR
○古津駅から徒歩約25分/矢代田駅から徒歩約35分。
○新潟駅からタクシーで約15分/矢代田駅からタクシーで約5分。

お車
○新潟方面から、国道49号線を国道403号線加茂・新潟方面へ(新潟駅から約20km、約45分)。
○磐越自動車道、新潟ICから約20分/新潟西スマートICから約15分(新潟西スマートICは会津若松方面の出入りはできません)。

バス
○JR新潟駅東口バス停から、秋葉区バス「新潟駅西口行」に乗車約25分、「美術館・植物園前」下車、徒歩すぐ。または新潟交通バス「矢代田経由白根・潟東行」に乗車約15分、「新潟美術館入口」下車、徒歩約5分。
○JR矢代田駅前バス停から、秋葉区バス「新潟駅東口行」に乗車約10分、「美術館・植物園前」下車、徒歩すぐ。または新潟交通バス「新潟駅行」に乗車約5分、「新潟美術館入口」下車、徒歩約5分。

●秋葉区バス ※美術館は10:00開館、17:00閉館(観覧券販売は16:30まで)

新津駅東口発	新津駅西口行	新津駅西口行	新津駅西口行	矢代田駅前発	新潟駅東口行	新潟駅東口行
	9:25	13:10	16:35		11:49	15:34
新津美術館入口 美術館・植物園前	↓	↓	↓	美術館・植物園前 新潟美術館入口	11:56	15:41
矢代田駅前	9:56	13:41	17:06	新潟駅東口着	12:20	16:05
新津駅西口着	10:45	14:30	17:55			

2022年4月現在の情報です。

●新潟交通バス 新潟交通観光バス新潟東営業所にお問合せください(TEL 0256-86-3355)。

新潟市新津美術館
〒956-0846 新潟市秋葉区蒲ヶ沢109番地1
(花と遺跡のふるさと公園内、県立植物園となり)
[TEL] 0250-25-1300 [FAX] 0250-25-1303
[MAIL] museum.ni@city.niigata.lg.jp [URL] http://www.city.niigata.lg.jp/nam/
[Facebook / Twitter / Instagram] @niitsuartmuseum

開館時間 午前10時～午後5時(観覧券販売は午後4時30分まで)
休館日 月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)、展示替え期間、年末年始(12/29～1/3)



EXHIBITION

新潟市新津美術館

SCHEDULE

展覧会のご案内 2022-2023



『手ぶくろを買いに』備成社 ©ken kuroi, 1988
黒井健 絵本原画展【10月29日(土)～12月25日(日)】に出品予定

貸施設利用のご案内

市民ギャラリー 面積290㎡(共有通路含む)
展示区画全面21.6m×7.9m×高3.73m

可動式の展示パネルで6つに仕切ることができ、6分の1区分から全面利用まで幅広く利用いただけます。

- パネル大 300円(幅6.0m/6枚)
- パネル中 200円(幅4.15m/10枚)
- 取付照明器具 300円



利用区分	利用料金
6分の1利用	8,000円
6分の2利用	15,000円
6分の3利用	20,000円
6分の4利用	25,000円
6分の5利用	30,000円
全面利用	35,000円

※1週間単位の料金
(休館日も含む7日間、最長2週間まで利用可)
※観覧料またはこれに類するものを徴収する場合は、利用料金5割増

レクチャールーム 面積110㎡

スクリーン、プロジェクター設備をもち、各種イベントに利用いただけます。30名程度の会議や100名程度の講演会が可能です。

●イス150脚、長机10台 無料(市民ギャラリーと共有)

利用区分	利用料金	視聴覚機器設備一式
午前(10時～12時)	2,000円	1,000円
午後(1時～5時)	4,000円	2,000円
全日(午前10時～午後5時)	6,000円	3,000円

※1日単位の料金(連続した3日間まで利用可)

野外劇場 面積435㎡(舞台254㎡、客席181㎡)

観客300名収容可能な扇状の客席と、直径10mの円形ステージをもつ野外の円形劇場。コンサートや演劇、パフォーマンスの舞台として幅広く利用いただけます。(電源設備あり、音響や照明機器はお持込みください)

利用区分	利用料金
午前9時～午後5時	1時間につき 500円
午後5時～午後9時	1時間につき 1,000円

※観覧料またはこれに類するものを徴収する場合は、利用料金5割増

近隣の文化施設等

- 新潟県立植物園 新潟市秋葉区金津186 TEL 0250-24-6465
- 石油の世界館 新潟市秋葉区金津1172-1 TEL 0250-22-1400
- 史跡 古津八幡山 弥生の丘展示館 新潟市秋葉区蒲ヶ沢264 TEL 0250-21-4133
- 新潟市新津鉄道資料館 新潟市秋葉区新津東町2-5-6 TEL 0250-24-5700
- 新潟県埋蔵文化財センター 新潟市秋葉区金津93-1 TEL 0250-25-3981
- 新潟市秋葉区文化会館 新潟市秋葉区新栄町4-23 TEL 0250-25-3301
- 新津フラワースタンド 新潟市秋葉区古津891-1 TEL 0250-24-8787
- 里山ビジターセンター 新潟市秋葉区金津1193 TEL 0250-22-6911
- 公益財団法人 中野邸記念館 (9～11月のみ開館) 新潟市秋葉区金津598 TEL 0250-25-1000



MINIATURE LIFE展 2 田中達也 見立ての世界

2022.3/19(土) - 5/15(日)

田中達也(1981～)は日用品とジオラマ用人形をモチーフに、日常にある物を別の物に見立てたアート作品を制作するミニチュア写真家・見立て作家です。2011年からインターネット上で「MINIATURE CALENDAR」と題した写真シリーズを毎日投稿し、現在まで新作を発表し続けています。現在Instagramのフォロワーは350万人(2022年2月現在)を超え、雑誌やテレビなどのメディアでも注目を集める作家です。

本展は、全国で160万人以上を動員している「MINIATURE LIFE展」の第2弾です。代表作を含む写真作品約120点と立体作品約50点を紹介し、田中達也のユニークな作品世界の魅力や制作の秘密に迫ります。



お菓子な虹(2019年) ©Tatsuya Tanaka

観覧料	当日	休館日
一般	1,200円	月曜日(祝日、4/18、5/2は開館) 3/22(火)

山形美術館所蔵 長谷川コレクション展

5/28(土) - 7/18(月・祝)

「幅広い県民の美術館」を理念に掲げる山形美術館の所蔵作品から、重要文化財や山形県指定有形文化財を有する「長谷川コレクション」を軸に、同館の豊かなコレクションを紹介する展覧会を開催します。

日本美術分野の収蔵作品を代表するのが、山形の紅花商人である長谷川家に伝世した美術品群「長谷川コレクション」です。本展では、江戸から明治にかけての書画・工芸品等からなる同コレクションから、重要文化財の与謝蕪村《奥の細道図屏風》をはじめ、谷文晁、川合玉堂らの優品を中心に展示するほか、「山形県関係の美術」分野の収蔵作品もお楽しみいただけます。



与謝蕪村《奥の細道図屏風》安永8(1779)年 山形美術館蔵 長谷川コレクション

観覧料	当日	休館日
一般	1,000円	月曜日(祝日、5/30、6/27は開館)

田島征三 アートのぼうけん展

7/30(土) - 9/25(日)

従来の概念を打ち破る「絵本」や「アート」の可能性を追求し続ける田島征三(1940～)。20代にして『ちからたろう』で第2回ブラティスラヴァ世界絵本原画展金のりんご賞を受賞し、その後も数々の絵本賞を受けながらも、自己の作風を革新し続けてきました。

本展では、学生時代の作品から『ちからたろう』や『とべバツ』などの代表的な絵本原画に、油彩画や版画などを加えた250余点を展示し、半世紀以上に及ぶ田島征三の創作世界的全貌を紹介します。



田島征三「ちからたろう」原画 1967年 刈谷市美術館寄託

観覧料	当日	休館日
一般	1,000円	月曜日(祝日、8/15、9/12は開館) 9/20(火)

一画業50年のあゆみ— 黒井健 絵本原画展

10/29(土) - 12/25(日)

新潟市出身の絵本画家・黒井健(1947～)の画業50周年を記念する個展を開催します。新潟大学を卒業した黒井は東京の出版社で絵本の編集に携わったのち、イラストレーターとして独立。1976年に初めての絵本を出版して以降、新美南吉の『ごんぎつね』や『手ぶくろを買いに』、間所ひさこの『ころわん』シリーズなど300冊以上の児童文学や絵本の挿絵を描き続けています。本展では代表作を中心に、新作や初公開の作品を含む約150点により黒井健の世界の魅力に迫ります。見る者の心をやさしく包む原画の数々をお楽しみください。



『ごんぎつね』信成社 ©ken kuroi

観覧料	当日	休館日
一般	1,000円	月曜日(11/21、12/19は開館)

弥生の丘展示館開館10周年記念・新潟市新津美術館開館25周年記念・古津八幡山遺跡発見35周年記念

美術と考古でみる、 こころへの生活。

2023.1/14(土) - 3/12(日)

新潟市では、当館が麓に立つ新津丘陵の周辺をはじめ約800ヶ所の遺跡が見つかっており、発掘された考古資料は、旧石器時代以降この地で人々がいかに暮らしてきたかを語りかけてくれます。一方、市の美術コレクションに目を転じると、当館および新潟市美術館には、近現代を中心とする作品・資料があわせて約5,800点収蔵され、時代精神を映す鏡として、私たち人間の生き方や心の動きについての様々な想像を掻き立てます。本展は、これら「美術」と「考古」のモノを、共通項である「生活」をテーマに掛け合わせて展示する試みです。



猪爪彦一《風景》(部分) 2017年 当館蔵

観覧料	当日	休館日
一般	500円	月曜日(2/20、3/6は開館)

2022-2023 SCHEDULE

○印は、あいてマन्द〜! 月曜日でも開館します!(各展覧会1〜2回程度) ■ MINIATURE LIFE展2 田中達也 見立ての世界 ■ 山形美術館所蔵 長谷川コレクション展 ■ 田島征三 アートのぼうけん展 ■ 第16回秋葉区美術展覧会 ■ 画業50年のあゆみ 黒井健 絵本原画展 ■ 第18回新潟教育アート展 ■ 美術と考古でみる、こころへの生活。

4 April	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September	10 October	11 November	12 December	1 January	2 February	3 March
Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat	Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat	Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat	Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat	Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat	Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat	Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat	Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat	Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat	Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat	Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat	Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat
1 2	1 ② 3 4 5 6 7	1 2 3 4	1 2	1 2 3 4 5 6	1 2 3	1	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4	1 2 3 4
3 4 5 6 7 8 9	8 9 10 11 12 13 14	5 6 7 8 9 10 11	3 4 5 6 7 8 9	7 8 9 10 11 12 13	4 5 6 7 8 9 10	2 3 4 5 6 7 8	6 7 8 9 10 11 12	4 5 6 7 8 9 10	8 9 10 11 12 13 14	5 6 7 8 9 10 11	5 ⑥ 7 8 9 10 11
10 11 12 13 14 15 16	15 16 17 18 19 20 21	12 13 14 15 16 17 18	10 11 12 13 14 15 16	14 ⑮ 16 17 18 19 20	11 ⑫ 13 14 15 16 17	9 10 11 12 13 14 15	13 14 15 16 17 18 19	11 12 13 14 15 16 17	15 16 17 18 19 20 21	12 13 14 15 16 17 18	12 13 14 15 16 17 18
17 ⑱ 19 20 21 22 23	22 23 24 25 26 27 28	19 20 21 22 23 24 25	17 18 19 20 21 22 23	21 22 23 24 25 26 27	18 19 20 21 22 23 24	16 17 18 19 20 21 22	20 ㉑ 22 23 24 25 26	18 ⑲ 20 21 22 23 24	22 23 24 25 26 27 28	19 ⑳ 21 22 23 24 25	19 20 21 22 23 24 25
24 25 26 27 28 29 30	29 ⑳ 31	26 ㉑ 28 29 30	24 25 26 27 28 29 30	28 29 30 31	25 26 27 28 29 30	23 24 25 26 27 28 29	27 28 29 30	25 26 27 28 29 30 31	29 30 31	26 27 28	26 27 28 29 30 31
			31			30 31					

新津美術館コレクション展

コレクション展I 水の様態一雨、霽、湿気 5/28(土)-7/18(月・祝)

雨粒からしぶき、空気中の湿気まで。水分を表現する難しさと面白さに注目します。



秋山庄次郎
《露金巻(シューリッパ)》
1990年発表

コレクション展II 青の魅力 7/30(土)-9/25(日)

明るい夏の花や川、静寂な夜空を描いた作品のほか、淡い青磁の趣もお楽しみください。



三浦小平二
《青磁彫り窓「トルコにて 歌舞」》
1987年頃

コレクション展III とり、とりどり 10/29(土)-12/25(日)

新潟市に渡り鳥が訪れる季節、「鳥」をモチーフとしたさまざまな作品をご紹介します。



張替正次
《鳥(雄叫び)》
制作年不詳

その他の展覧会

無 料

第16回秋葉区美術展覧会 10/15(土)-10/23(日)

会期中無休 午前10時～午後5時(最終日は午後3時まで)
秋葉区に在住、勤務する市民による総合的な美術の展覧会。

第18回新潟教育アート展 2023.1/4(水)-1/8(日)

会期中無休 午前10時～午後5時
下越美術教育研究会との共催による、新潟県内の幼稚園、保育園、こども園、小・中・義務教育・中等教育学校、高校、特別支援学校の作品展。

新潟市美術館の展覧会 お問い合わせ 新潟市中央区西大畑町5191-9 TEL 025-223-1622

宮城県美術館所蔵 絵本原画の世界 2022

4/9(土)-5/22(日)

マン・レイと女性たち

7/2(土)-9/25(日)

第54回新潟市美術館

前期: 10/12(水)-10/16(日) 後期: 10/19(水)-10/23(日)

新潟映像祭

11/1(火)-11/23(水・祝)

リアル(写真)のゆけえ 現代の作家たち 生きること、写すこと

11/29(火)-2023.1/29(日)